

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 公表特許公報 (A)

(11) 特許出願公表番号

特表2013-541762

(P2013-541762A)

(43) 公表日 平成25年11月14日 (2013. 11. 14)

(51) Int. Cl.	F I	テーマコード (参考)
G06F 3/048 (2013.01)	G06F 3/048 651C	5E555
G06F 3/0482 (2013.01)	G06F 3/048 654B	

審査請求 未請求 予備審査請求 未請求 (全 18 頁)

(21) 出願番号	特願2013-529136 (P2013-529136)	(71) 出願人	500046438 マイクロソフト コーポレーション アメリカ合衆国 ワシントン州 9805 2-6399 レッドモンド ワン マイ クロソフト ウェイ
(86) (22) 出願日	平成23年2月21日 (2011. 2. 21)	(74) 代理人	100140109 弁理士 小野 新次郎
(85) 翻訳文提出日	平成25年5月10日 (2013. 5. 10)	(74) 代理人	100075270 弁理士 小林 泰
(86) 国際出願番号	PCT/US2011/025621	(74) 代理人	100096013 弁理士 富田 博行
(87) 国際公開番号	W02012/036755	(74) 代理人	100092967 弁理士 星野 修
(87) 国際公開日	平成24年3月22日 (2012. 3. 22)	(74) 代理人	100147991 弁理士 鳥居 健一
(31) 優先権主張番号	12/881, 832		
(32) 優先日	平成22年9月14日 (2010. 9. 14)		
(33) 優先権主張国	米国 (US)		

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 サイトに重点を置いたブラウザフレーム

(57) 【要約】

様々な実施形態では、Webブラウザユーザーインターフェイスは、Webブラウザユーザーインターフェイスの上部にある1行に沿って均等配置された、選択したコントロールのサブセットを含む。コントロールのレイアウトは、左から右にまたは右から左にすることができる。具体的には、左から右のレイアウトでは、一定の基準を満たす選択したコントロールは、他のコントロールの左側に現れることができる。同様に、右から左のレイアウトでは、一定の基準を満たす選択したコントロールは、他のコントロールの右側に現れることができる。少なくともいくつかの実施形態では、1行に沿って均等配置されて現れるコントロールの少なくともいくつかは、何らかのタイプのナビゲーションに関連するコントロールである。そのようなコントロールは、テキスト入力がユーザーによって提供されることを可能にするコントロールを含むことができる。

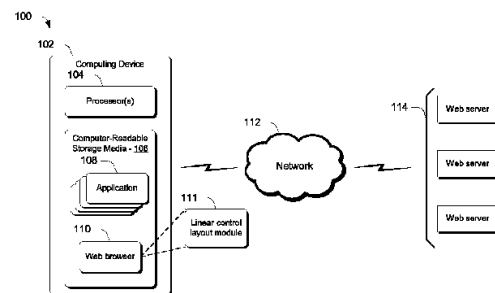


Fig. 1

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

実行されると、
Web ブラウザーユーザーインターフェイスと、
前記 Web ブラウザーユーザーインターフェイス内のコンテンツレンダリング領域と、
前記コンテンツレンダリング領域に隣接し、前記コンテンツレンダリング領域の上にあるコントロールレイアウト領域と
を備える Web ブラウザーを実施するコンピューター可読命令を具体化する 1 つまたは複数のコンピューター可読記憶媒体であって、

前記コントロールレイアウト領域が、前記 Web ブラウザーユーザーインターフェイスの上部にある 1 行に沿って均等配置された、選択したコントロールのサブセットを含み、
前記選択したコントロールのうちの 1 つが、入力フィールドを提供するナビゲーションコントロールを備え、前記選択したコントロールのうちの別の 1 つが、ユーザーが異なるコンテンツのビューを切り替えることを可能にする入力手段を備える、1 つまたは複数のコンピューター可読記憶媒体。

【請求項 2】

前記選択したコントロールのうちの前記 1 つがアドレスバーを備える、請求項 1 に記載の 1 つまたは複数のコンピューター可読記憶媒体。

【請求項 3】

前記選択したコントロールのうちの前記 1 つが検索バーを備える、請求項 1 に記載の 1 つまたは複数のコンピューター可読記憶媒体。

【請求項 4】

前記選択したコントロールのうちの前記別の 1 つが 1 つまたは複数のタブをさらに備える、請求項 1 に記載の 1 つまたは複数のコンピューター可読記憶媒体。

【請求項 5】

前記 Web ブラウザーユーザーインターフェイスが、前記 1 行に沿って均等配置された、前記選択したコントロールの上に現れる他のナビゲーションコントロールを含まない、請求項 1 に記載の 1 つまたは複数のコンピューター可読記憶媒体。

【請求項 6】

実行されると、
Web ブラウザーユーザーインターフェイスと、
前記 Web ブラウザーユーザーインターフェイス内のコンテンツレンダリング領域と、
前記コンテンツレンダリング領域に隣接し、前記コンテンツレンダリング領域の上にあるコントロールレイアウト領域と
を備える Web ブラウザーを実施するコンピューター可読命令を具体化する 1 つまたは複数のコンピューター可読記憶媒体であって、

前記コントロールレイアウト領域が、前記 Web ブラウザーユーザーインターフェイスの上部にある 1 行に沿って均等配置された、選択したコントロールのサブセットを含み、
前記選択したコントロールが、戻るナビゲーションボタンおよび進むナビゲーションボタン、入力フィールドを提供するナビゲーションコントロール、ならびにユーザーが異なるコンテンツのビューを切り替えることを可能にする入力手段を備える、
1 つまたは複数のコンピューター可読記憶媒体。

【請求項 7】

入力フィールドを提供する前記ナビゲーションコントロールがアドレスバーを備える、請求項 6 に記載の 1 つまたは複数のコンピューター可読記憶媒体。

【請求項 8】

入力フィールドを提供する前記ナビゲーションコントロールがアドレスバーを備え、ユーザーが異なるコンテンツのビューを切り替えることを可能にする前記入力手段が 1 つまたは複数のタブを備える、請求項 6 に記載の 1 つまたは複数のコンピューター可読記憶媒体。

10

20

30

40

50

【請求項 9】

入力フィールドを提供する前記ナビゲーションコントロールがアドレスバーを備え、ユーザーが異なるコンテンツのビューを切り替えることを可能にする前記入力手段が1つまたは複数のタブを備え、前記1つまたは複数のタブのうちの1つがその中に前記アドレスバーを含むように構成される、請求項6に記載の1つまたは複数のコンピューター可読記憶媒体。

【請求項 10】

入力フィールドを提供する前記ナビゲーションコントロールがアドレスバーを備え、ユーザーが異なるコンテンツのビューを切り替えることを可能にする前記入力手段が1つまたは複数のタブを備え、前記Webブラウザが前記1つまたは複数のタブを含むタブバンドのサイズと前記アドレスバーの比を選択し、前記Webブラウザに関連付けられたウィンドウサイズが縮小されると、コントロールを削除するように構成される、請求項6に記載の1つまたは複数のコンピューター可読記憶媒体。

10

【請求項 11】

ユーザーが異なるコンテンツのビューを切り替えることを可能にする前記入力手段が1つまたは複数のタブを備える、請求項6に記載の1つまたは複数のコンピューター可読記憶媒体。

【請求項 12】

前記Webブラウザユーザーインターフェイスが、前記1行に沿って均等配置された、前記選択したコントロールの上に現れる他のナビゲーションコントロールを含まない、請求項6に記載の1つまたは複数のコンピューター可読記憶媒体。

20

【請求項 13】

前記選択したコントロールが、記載されたように左から右に、前記1行に沿って均等配置される、請求項6に記載の1つまたは複数のコンピューター可読記憶媒体。

【請求項 14】

前記選択したコントロールが、一群のユーザーにおけるそのコントロールに関連する使用頻度に従って1行に沿って均等配置される、請求項6に記載の1つまたは複数のコンピューター可読記憶媒体。

【請求項 15】

前記1行に沿った少なくともいくつかのコントロールの出現がユーザーカスタマイズ可能である、請求項6に記載の1つまたは複数のコンピューター可読記憶媒体。

30

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本発明は、サイトに重点を置いたブラウザフレーム (browser frame with site focus) に関する

【背景技術】

【0002】

[0001] 研究では、人々は、ブラウジングアクティビティを実施しているときに、Web サイトコンテンツを重視したいと考えており、必ずしも自分のWebブラウザの機能を重視したいと考えているわけではない傾向があるということが分かっている。

40

【発明の概要】

【発明が解決しようとする課題】

【0003】

それにもかかわらず、ブラウザ設計は、ブラウザの機能を強調するユーザーインターフェイスを重視する傾向があり、したがって、ユーザーがWebサイトのコンテンツを重視することをより困難なものとしている。

【課題を解決するための手段】

【0004】

[0002] この概要は、発明を実施するための形態において以下でさらに説明される、簡略

50

化した形態での概念の選択肢を紹介するために提供される。この概要は、特許請求される主題の主要な機能または必須の機能を特定することを意図するものでもなく、特許請求される主題の範囲を限定するために使用されることを意図するものでもない。

【0005】

[0003]様々な実施形態では、Webブラウザユーザーインターフェイスは、Webブラウザユーザーインターフェイスの上部にある1行に沿って均等配置された、選択したコントロールのサブセットを含む。コントロールのレイアウトは、左から右にまたは右から左にすることができる。具体的には、左から右のレイアウトでは、一定の基準を満たす選択したコントロールは、他のコントロールの左側に現れることができる。同様に、右から左のレイアウトでは、一定の基準を満たす選択したコントロールは、他のコントロールの右側に現れることができる。少なくともいくつかの実施形態では、1行に沿って均等配置されて現れるコントロールの少なくともいくつかは、何らかのタイプのナビゲーションに関連するコントロールである。そのようなコントロールは、テキスト入力によって提供されることを可能にするコントロールを含むことができる。

10

【0006】

[0004]加えて、少なくともいくつかの実施形態では、コントロールセットを、コントロールよりもサイトコンテンツを一層強調する方法で、Webブラウザユーザーインターフェイス内で視覚的に扱うことができる。

【0007】

[0005]同様の機能を参照するために、図面全体を通して同じ番号が使用される。

20

【図面の簡単な説明】

【0008】

【図1】[0006]1つまたは複数の実施形態による、本明細書に記載される様々な原理を用いることができる運用環境を示す図である。

【図2】[0007]1つまたは複数の実施形態による例示的なWebブラウザを示す図である。

【図3】[0008]1つまたは複数の実施形態によるコントロールレイアウト領域を示す図である。

【図4】[0009]別の実施形態によるコントロールレイアウト領域を示す図である。

【図5】[0010]別の実施形態によるコントロールレイアウト領域を示す図である。

30

【図6】[0011]別の実施形態によるコントロールレイアウト領域を示す図である。

【図7】[0012]1つまたは複数の実施形態による例示的なWebブラウザを示す図である。

【図8】[0013]別の実施形態によるコントロールレイアウト領域を示す図である。

【図9】[0014]1つまたは複数の実施形態による方法のステップを説明する流れ図である。

【図10】[0015]1つまたは複数の実施形態を実施するために使用することができる例示的なシステムを示す図である。

【発明を実施するための形態】

【0009】

概要

[0016]様々な実施形態では、Webブラウザユーザーインターフェイスは、Webブラウザユーザーインターフェイスの上部にある1行に沿って均等配置された、選択したコントロールのサブセットを含む。コントロールのレイアウトは、左から右にまたは右から左にすることができる。具体的には、左から右のレイアウトでは、一定の基準を満たす選択したコントロールは、他のコントロールの左側に現れることができる。左から右のレイアウトは、ユーザーが左から右に読むロケールにおいてうまく機能する。こうしたことは、快適で直感的なエクスペリエンスを提供する。同様に、右から左のレイアウトでは、一定の基準を満たす選択したコントロールは、他のコントロールの右側に現れることができる。右から左のレイアウトは、ユーザーが右から左に読むロケールにおいてうまく機能

40

50

する。こうしたことは、これらのユーザーに快適で直感的なエクスペリエンスを提供する。任意の適切なタイプの基準を利用して、選択したコントロールを1行に沿って均等配置する方法を決定することができる。選択したコントロールを1行に沿って均等配置することで、水平方向および垂直方向双方のスクリーンリアルエステート（screen real estate）を効率的に使用する。具体的には、水平方向の次元では、選択したコントロールを1行に沿って均等配置することで、少なくともいくつかの実施形態で最も多く使用されるコントロールの迅速な視覚的識別が容易になる。これにより、垂直方向の次元におけるスクリーンリアルエステートを、例えば、使用されることが少ない可能性がある他のコントロールに利用することが可能になる。

【0010】

10

[0017]少なくともいくつかの実施形態では、1行に沿って均等配置されて現れるコントロールの少なくともいくつかは、何らかのタイプのナビゲーションに関連するコントロールである。例えば、そのようなコントロールは、例として限定することなく、戻るナビゲーションボタンおよび進むナビゲーションボタン、アドレスバーまたは検索バーなどの入力フィールドを提供するナビゲーションコントロール、ならびに／またはユーザーがタブなどの異なるコンテンツのビューを切り替えることを可能にする入力手段を含むことができる。

【0011】

[0018]加えて、少なくともいくつかの実施形態では、コントロールセットを、コントロールよりもサイトコンテンツを一層強調する方法で、Webブラウザユーザーインターフェイス内で視覚的に扱うことができる。

20

【0012】

[0019]以下に続く説明では、「運用環境」と題されたセクションが提供され、このセクションは、1つまたは複数の実施形態を用いることができる1つの環境について説明する。これに続いて、「例示的な線形コントロールレイアウトモジュール」と題されたセクションは、1つまたは複数の実施形態による例示的な線形コントロールレイアウトモジュールについて説明する。次に、「サイトコンテンツを強調するためのコントロールの視覚的处理」と題されたセクションは、1つまたは複数の実施形態に従って、どのようにコントロールを視覚的に処理して、サイトコンテンツを強調することができるかについて説明する。これに続いて、「コントロールレイアウト領域に現れる特定のコントロールを視覚的に強調する」と題されたセクションは、1つまたは複数の実施形態に従って、どのように特定のコントロールを視覚的に強調することができるかについて説明する。次に、「タブバンドに対してアドレスバーをサイズ調整する」と題されたセクションは、1つまたは複数の実施形態に従って、タブバンドに対して、どのようにアドレスバーをサイズ調整およびサイズ変更することができるかについて説明する。これに続いて、「例示的な方法」と題されたセクションは、1つまたは複数の実施形態による例示的な方法について説明する。最後に、「例示的なシステム」と題されたセクションは、1つまたは複数の実施形態による例示的なシステムについて説明する。

30

運用環境

[0020]図1は、1つまたは複数の実施形態による運用環境の全体を100で示す。環境100は、1つまたは複数のプロセッサ104、1つまたは複数のコンピューター可読記憶媒体106および、コンピューター可読記憶媒体に常駐し、（1つまたは複数の）プロセッサによって実行可能な1つまたは複数のアプリケーション108を有するコンピューティングデバイス102を含む。コンピューター可読記憶媒体は、例として限定することなく、すべての形態の揮発性メモリーおよび不揮発性メモリーならびに／または通常コンピューティングデバイスに関連付けられる記憶媒体を含むことができる。そのようなメディアとしては、ROM、RAM、フラッシュメモリー、ハードディスク、リムーバブルメディアなどを挙げることができる。コンピューティングデバイスの1つの具体的な例が図10に示され、以下で説明される。

40

【0013】

50

[0021] 加えて、コンピューティングデバイス 102 は、上記および以下で説明されるように動作する Web ブラウザーユーザーインターフェイスを提供するために線形コントロールレイアウトモジュール 111 を含む、またはそうでない場合は線形コントロールレイアウトモジュール 111 を利用する Web ブラウザー 110 の形態のソフトウェアアプリケーションを含む。線形コントロールレイアウトモジュールは、ユーザーが Web サイトのコンテンツを重視する一方で、コントロールによって提供することができる邪魔なものの一部を削除するのを支援するように設計される。例えば、Web ブラウザーユーザーインターフェイスは、線形コントロールレイアウトモジュールを介して、Web ブラウザーユーザーインターフェイスの上部にある 1 行に沿って均等配置された、選択したコントロールのサブセットを含むことができる。コントロールのレイアウトは、上述したように、左から右にまたは右から左にすることができる。任意の適切なタイプの基準を利用して、選択したコントロールを 1 行に沿って均等配置する方法を決定することができる。例えば、1 つの基準は、一群のユーザーにおける特定のコントロールの使用頻度を含むことができる。あるいはまたはそれに加えて、別の基準は、1 行に沿ったコントロールの出現がユーザーカスタマイズ可能となるような個々のユーザーの嗜好を含むことができる。さらに、少なくともいくつかの実施形態では、1 行に沿って均等配置されて現れるコントロールの少なくともいくつかは、何らかのタイプのナビゲーションに関連するコントロールである。例えば、そのようなコントロールは、例として限定することなく、戻るナビゲーションボタンおよび進むナビゲーションボタン、アドレスバーまたは検索バーなどの入力フィールドを提供するナビゲーションコントロール、ならびに／またはユーザーがタブなどの異なるコンテンツのビューを切り替えることを可能にする入力手段を含むことができる。

10

20

【0014】

[0022] 加えて、少なくともいくつかの実施形態では、以下で明らかとなるように、コントロールセットを、コントロールよりもサイトコンテンツを一層強調する方法で、Web ブラウザーユーザーインターフェイス内で視覚的に扱うことができる。

【0015】

[0023] 加えて、環境 100 は、インターネットなどのネットワーク 112、および上記および以下で説明されるようにコンテンツを送受信することができる 1 つまたは複数の Web サーバー 114 を含む。そのようなコンテンツは、Web サーバーから受信される Web ページを含むことができる。

30

【0016】

[0024] コンピューティングデバイス 102 は、例として限定することなく、デスクトップコンピューター、ポータブルコンピューター、携帯情報端末 (PDA)、携帯電話などのハンドヘルドコンピューターなどの任意の適切なコンピューティングデバイスとして具体化され得る。

【0017】

[0025] 例示的な運用環境について説明してきたが、次に、線形コントロールレイアウトモジュール 111 を利用することができるいくつかの例示的な実施形態の説明について検討する。

例示的な線形コントロールレイアウトモジュール

40

[0026] 図 2 は、1 つまたは複数の実施形態による例示的な Web ブラウザーの全体を 200 で示す。この特定の例では、Web ブラウザー 200 は Web ブラウザーユーザーインターフェイス 202 を含み、Web ブラウザーユーザーインターフェイス 202 は、コンテンツレンダリング領域 206 に隣接し、コンテンツレンダリング領域 206 の上にあるコントロールレイアウト領域 204 を含む。

【0018】

[0027] コントロールレイアウト領域 204 は、線形コントロールレイアウトモジュール 111 (図 1) の影響下で提供される。コントロールレイアウト領域 204 は、ユーザーがコンテンツレンダリング領域 206 内に表示されるものなどの Web サイトのコンテンツを重視する一方で、コントロールによって提供することができる邪魔なものの一部を削

50

除するのを支援するように設計される。例えば、Webブラウザユーザーインターフェイスは、線形コントロールレイアウトモジュールを介して、Webブラウザユーザーインターフェイスの上部にある1行に沿って均等配置された、選択したコントロールのサブセットを含むことができる。これは、図3により詳細に示される。

【0019】

[0028]図3は、1つまたは複数の実施形態によるコントロールレイアウト領域204をより詳細に示す。この例では、複数のコントロールは、「1」で示された1行に沿って均等配置される。上述したように、コントロールのレイアウトは、左から右にまたは右から左にすることができる。任意の適切なタイプの基準を利用して、選択したコントロールを1行に沿って均等配置する方法を決定することができ、その例は上記で提供されている。1つまたは複数の実施形態では、コントロールのグループ化は、以下で明らかとなるように、コントロールが互いに有する関係に基づくことができる。例えば、少なくともいくつかの実施形態では、1行に沿って均等配置されて現れるコントロールの少なくともいくつかは、何らかのタイプのナビゲーションに関連するコントロールである。例えば、そのようなコントロールは、例として限定することなく、戻るナビゲーションボタンおよび進むナビゲーションボタン300、アドレスバーまたは検索バーなどの、テキストを受信または提示するための入力フィールドを提供するナビゲーションコントロール302、ならびに／またはユーザーがタブ304などの異なるコンテンツのビューを切り替えることを可能にする入力手段を含むことができる。

【0020】

[0029]図示され、説明された例では、戻るナビゲーションボタンおよび進むナビゲーションボタンはそれぞれ、ナビゲーションに関連するので、これらのボタンと一緒にグループ化することが望ましい場合がある。さらに、少なくともいくつかの実施形態では、戻るボタンおよび進むボタンに隣接する、ナビゲーションコントロール302によって表されるものなどのアドレスバーをグループ化することが望ましい場合がある。これは、アドレスバーが、いくつかの例では戻るボタンおよび進むボタンを介して、ブラウザを移動する先のURLを示す限りにおいて、アドレスバーおよび戻る／進むボタンに関連しているからである。

【0021】

[0030]加えて、いわゆるセカンダリコントロール306などの他のコントロールを、線1に沿って均等配置することができる。次いで、視覚的な観点から、線1は、少なくともいくつかの実施形態では、何らかの1つまたは複数の基準を満たすコントロールの観点から均等配置された一連のコントロールを、上記の1つまたは複数の基準をあまり（または全く）満たさないコントロールと区別する。少なくともいくつかの実施形態では、線1はWebブラウザユーザーインターフェイスの上部に配置され（図2）、少なくともいくつかのナビゲーションコントロールを含み、そのナビゲーションコントロールの上には他のナビゲーションコントロールは現れない。さらに他の実施形態では、線1はWebブラウザユーザーインターフェイスの上部に配置され、1つまたは複数のタブを含むタブバンドを含み、そのタブバンドの上には他のナビゲーションコントロールは現れない。

【0022】

[0031]図4は、別の実施形態によるコントロールレイアウト領域204を示す。図3の実施形態と同じ番号を利用して、同じ構成要素を示す。この例では、コントロールレイアウト領域204は、アドレスバーまたは検索バーなどの入力フィールドを提供するナビゲーションコントロール302、およびユーザーが線1に沿って均等配置されたタブ304などの異なるコンテンツのビューを切り替えることを可能にする入力手段を含む。

【0023】

[0032]図5は、別の実施形態によるコントロールレイアウト領域204を示す。図3の実施形態と同じ番号を利用して、同じ構成要素を示す。この例では、コントロールレイアウト領域204は、戻るナビゲーションボタンおよび進むナビゲーションボタン300、およびユーザーが線1に沿って均等配置されたタブ304などの異なるコンテンツのビュー

ーを切り替えることを可能にする入力手段を含む。

【0024】

[0033]図6は、別の実施形態によるコントロールレイアウト領域204を示す。図3の実施形態と同じ番号を利用して、同じ構成要素を示す。この例では、コントロールレイアウト領域204はタブ600を含み、タブ600内にアドレスバーが現れる。明確にするために、線1は途切れている。この例では、アドレスバーをタブ内に含めることで、現在の場所の明確性および視覚的識別を促進する。具体的には、この共有情報を1つのコントロールに出現させることで、ユーザーが移動した先の場所の1つの明確なアドレスを提供する。場所を切り替え、移動する場合は、より少ないステップしか必要とせず、より少ない認知負荷を利用する。

10

サイトコンテンツを強調するためのコントロールの視覚的処理

[0034]加えて、少なくともいくつかの実施形態では、以下で明らかとなるように、コントロールセットを、コントロールよりもサイトコンテンツを一層強調する方法で、Webブラウザユーザーインターフェイス内で視覚的に扱うことができる。

【0025】

[0035]一例として、図2の実施形態と同じ番号を利用して、同じ構成要素を示す図7について検討する。図7には、1つまたは複数の実施形態による例示的なWebブラウザ200が示されている。この特定の例では、Webブラウザ200はWebブラウザユーザーインターフェイス202を含み、Webブラウザユーザーインターフェイス202はコントロールレイアウト領域204およびコンテンツレンダリング領域206を含む。

20

【0026】

[0036]上記の例と同様に、コントロールレイアウト領域204は、線形コントロールレイアウトモジュール111（図1）の影響下で提供される。コントロールレイアウト領域204は、ユーザーがコンテンツレンダリング領域206内に表示されるものなどのWebサイトのコンテンツを重視する一方で、コントロールによって提供することができる邪魔なものの一部を削除するのを支援するように設計される。例えば、Webブラウザユーザーインターフェイスは、線形コントロールレイアウトモジュールを介して、Webブラウザユーザーインターフェイスの上部にある1行に沿って均等配置された、選択したコントロールのサブセットを含むことができる。さらに、この例では、Webブラウザユーザーインターフェイスは、灰色の点状パターンで表されるテーマを含むクライアントデスクトップ700に対して表示されるものとして示されている。任意の適切なテーマを使用することができる。

30

【0027】

[0037]図示され、説明された実施形態では、コンテンツレンダリング領域206内に表示されるコンテンツをより視覚的に強調するために、コントロールレイアウト領域204は、基礎となるテーマを反映するために効果的に明確になるように表示され得る。具体的には、この例では、コンテンツレンダリング領域に現れるコントロールは、灰色の点状パターンで示される基礎となるテーマを反映することに留意されたい。少なくともいくつかの実施形態では、ユーザーがコントロールレイアウト領域204内に現れる特定のコントロールを選択するとき、そのコントロールは、コントロール領域204に現れるコントロールの発見を容易にすることができる異なるカラーをとることができる。

40

【0028】

[0038]あるいはまたはそれに加えて、コントロールレイアウト領域204内に現れるコントロールを単色で表示することができ、コントロールおよびコントロールが現れる関連するコントロールレイアウト領域を、コンテンツレンダリング領域206に現れるコンテンツを強調するために選択された1つのカラーで表示することができる。例えば、コントロールおよびコントロールレイアウト領域204をグレースケールで表示して、コンテンツレンダリング領域206を強調することができる。ユーザーがコントロールを選択すると、そのコントロールは、当該のコントロールを強調するために異なるカラーをとること

50

ができる。

コントロールレイアウト領域に現れる特定のコントロールを視覚的に強調する

[0039]少なくともいくつかの実施形態では、コントロールレイアウト領域に現れる特定のコントロールを視覚的に強調することができる。一例として、代替実施形態による、図3の例のコントロールレイアウト領域204を示す図8について検討する。図3の例と同じ番号を利用して、同じ構成要素を示す。

【0029】

[0040]この例では、上記の例と同様に、複数のコントロールは、「1」で示された1行に沿って均等配置される。例示的なコントロールは、例として限定することなく、戻るナビゲーションボタンおよび進むナビゲーションボタン300、アドレスバーまたは検索バーなどの入力フィールドを提供するナビゲーションコントロール302、ならびに／またはユーザーがタブ304などの異なるコンテンツのビューを切り替えることを可能にする入力手段を含むことができる。

【0030】

[0041]この例では、戻るナビゲーションボタン800が進むナビゲーションボタン802よりも大きく現れていることに留意されたい。この例では、ボタン800がより大きいのは、ボタン800が進むナビゲーションボタン802よりも頻繁に使用されるからである。特許請求される主題の趣旨および範囲から逸脱することなく、他の視覚的強調の技術が使用され得る。

タブバンドに対してアドレスバーをサイズ調整する

[0042]表示画面サイズが水平方向に大きくなると、ワイドスクリーンユーザーエクスペリエンスをもたらす傾向がある。確かに、上記で説明された実施形態の少なくともいくつかの動機付けの一部は、水平方向で利用可能なスクリーンリアルエステートを効率的に使用することによって、改善されたユーザーエクスペリエンスをもたらすことに関連する。

【0031】

[0043]少なくともいくつかの実施形態では、Webブラウザーは、Webブラウザーウィンドウがサイズ変更されるときに、コントロールレイアウト領域においてコントロールを効率的に管理する方法で設計される。例えば、Webブラウザーは表示画面の水平方向解像度を確認することができ、ウィンドウのサイズ変更操作に応答して、タブおよびアドレスバーのレイアウトをインテリジェントに管理することができる。

【0032】

[0044]例えば、Webブラウザーは、タブを含むタブバンドのサイズとアドレスバーの比を選択することができる。この比は、表示画面の水平方向解像度の変更と関連して変更することができる。さらに、タブバンドとアドレスバーの比が選択されると、Webブラウザーウィンドウがサイズ変更される、例えば、小さくされるときに、Webブラウザーはこの比を維持しようと試みることができる。ただし、Webブラウザーウィンドウのサイズが縮小されたときの何らかの閾値レベルにおいて、Webブラウザーは縮小されたアドレスバー幅に切り替えることができ、セカンダリコントロールなどのコントロールの削除を開始することができる。アドレスバーの縮小された幅の寸法は、アドレスバー内に所望の量のテキストを保持するように選択され得る。ウィンドウのサイズが縮小され続けると、Webブラウザーは、非常に小さい画面サイズであってもアドレスバーおよびナビゲーションコントロールが表示可能となるように、タブの削除を開始することができる。

【0033】

[0045]上記の様々な実施形態について説明してきたが、次に、1つまたは複数の実施形態による例示的な方法について検討する。

例示的な方法

[0046]図9は、1つまたは複数の実施形態による方法のステップについて説明する流れ図である。この方法は、任意の適切なハードウェア、ソフトウェア、ファームウェア、またはこれらの組合せに関連して実施され得る。少なくともいくつかの実施形態では、この方法は、上記で説明されたものなどのWebブラウザーおよび／または線形コントロール

10

20

30

40

50

レイアウトモジュールの形態のソフトウェアにおいて実施され得る。

【0034】

[0047]ステップ900は、Webブラウザユーザーインターフェイスを表示する。ステップ902は、選択したコントロールを、Webブラウザユーザーインターフェイスの上部に隣接する1行に沿って均等配置する。選択したコントロールの例は、上記で提供されている。

例示的なシステム

[0048]図10は、上記で説明された様々な実施形態を実施するために使用することができる例示的なコンピューティングデバイス1000を示す。コンピューティングデバイス1000は、例えば、図1のコンピューティングデバイス102またはWebサーバー114とすることができる。

10

【0035】

[0049]コンピューティングデバイス1000は、1つまたは複数のプロセッサもしくは処理ユニット1002、1つまたは複数のメモリーおよび／もしくは記憶コンポーネント1004、1つまたは複数の入力／出力（I/O）デバイス1006、ならびに様々なコンポーネントおよびデバイスが互いに通信することを可能にするバス1008を含む。バス1008は、様々なバスアーキテクチャのいずれかを使用するメモリーバスまたはメモリーコントローラー、周辺バス、アクセラレーテッドグラフィックスポート、およびプロセッサまたはローカルバスを含む、いくつかのタイプのバス構造のいずれかの1つまたは複数を表す。バス1008は、有線バスおよび／または無線バスを含むことができる。

20

【0036】

[0050]メモリー／記憶コンポーネント1004は、1つまたは複数のコンピューター記憶媒体を表す。コンポーネント1004は、（ランダムアクセスメモリー（RAM）などの）揮発性メディアおよび／または（読取り専用メモリー（ROM）、フラッシュメモリー、光ディスク、磁気ディスクなどの）不揮発性メディアを含むことができる。コンポーネント1004は、固定メディア（例えば、RAM、ROM、固定ハードドライブなど）ならびにリムーバブルメディア（例えば、フラッシュメモリードライブ、リムーバブルハードドライブ、光ディスクなど）を含むことができる。

【0037】

[0051]1つまたは複数の入力／出力デバイス1006により、ユーザーはコマンドおよび情報をコンピューティングデバイス1000に入力することができ、また、情報をユーザーおよび／または他のコンポーネントもしくはデバイスに提示することができる。入力デバイスの例としては、キーボード、カーソル制御デバイス（例えば、マウス）、マイクロホン、スキャナーなどが挙げられる。出力デバイスの例としては、表示デバイス（例えば、モニターまたはプロジェクター）、スピーカー、プリンター、ネットワークカードなどが挙げられる。

30

【0038】

[0052]ソフトウェアまたはプログラムモジュールの一般的なコンテキストにおいて、様々な技術が本明細書に記載され得る。一般に、ソフトウェアは、特定のタスクを実行するまたは特定の抽象データタイプを実施するルーチン、プログラム、オブジェクト、コンポーネント、データ構造などを含む。これらのモジュールおよび技術の実施は、何らかの形態のコンピューター可読メディア上で記憶されるか、または伝送され得る。コンピューター可読メディアは、コンピューティングデバイスによってアクセスすることができる、任意の利用可能な1つまたは複数のメディアとすることができる。例として限定することなく、コンピューター可読メディアは、「コンピューター可読記憶媒体」を備え得る。

40

【0039】

[0053]「コンピューター可読記憶媒体」は、コンピューター可読命令、データ構造、プログラムモジュール、または他のデータなどの情報を記憶するために任意の方法または技術で実施される揮発性メディアおよび不揮発性メディア、リムーバブルメディアおよび非

50

リムーバブルメディアを含む。コンピュータ可読記憶媒体としては、RAM、ROM、EEPROM、フラッシュメモリもしくは他のメモリーテクノロジー、CD-ROM、デジタル多用途ディスク（DVD）もしくは他の光学記憶装置、磁気カセット、磁気テープ、磁気ディスク記憶装置もしくは他の磁気記憶デバイス、または所望の情報を記憶するために使用することができ、コンピュータによってアクセスすることができる任意の他のメディアが挙げられるが、これらに限定されない。

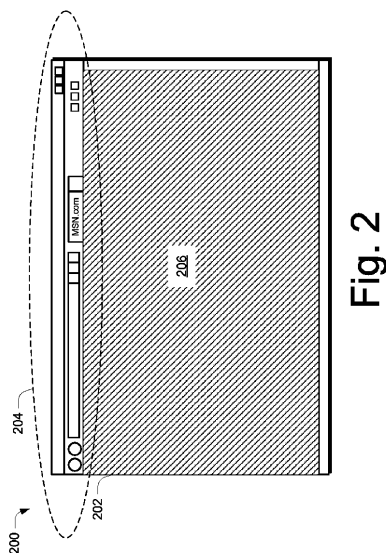
結論

[0054] 様々な実施形態では、Webブラウザユーザーインターフェイスは、Webブラウザユーザーインターフェイスの上部にある1行に沿って均等配置された、選択したコントロールのサブセットを含む。コントロールのレイアウトは、左から右にまたは右から左にすることができる。具体的には、左から右のレイアウトでは、一定の基準を満たす選択したコントロールは、他のコントロールの左側に現れることができる。同様に、右から左のレイアウトでは、一定の基準を満たす選択したコントロールは、他のコントロールの右側に現れることができる。少なくともいくつかの実施形態では、1行に沿って均等配置されて現れるコントロールの少なくともいくつかは、何らかのタイプのナビゲーションに関連するコントロールである。そのようなコントロールは、テキスト入力がユーザーによって提供されることを可能にするコントロールを含むことができる。

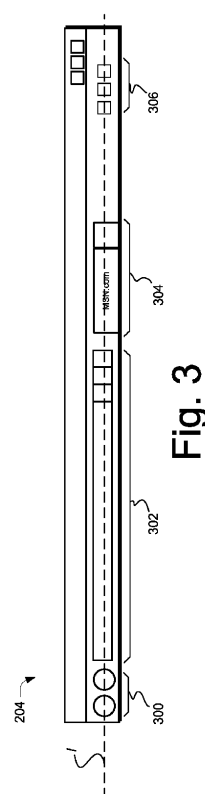
【0040】

[0055] 構造的機能および／または方法的行為に特有の文言で主題について説明してきたが、添付の特許請求の範囲で定義される主題は必ずしも上記で説明された特定の機能または行為に限定されないことを理解されたい。むしろ、上記で説明された特定の機能および行為は、特許請求の範囲を実施する例示的な形態として開示される。

【図2】



【図3】



【 図 4 】

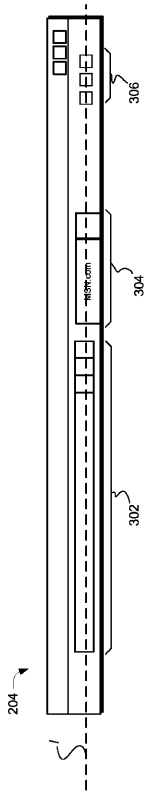


Fig. 4

【 図 5 】

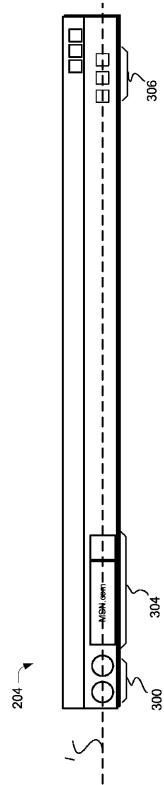


Fig. 5

【 図 6 】

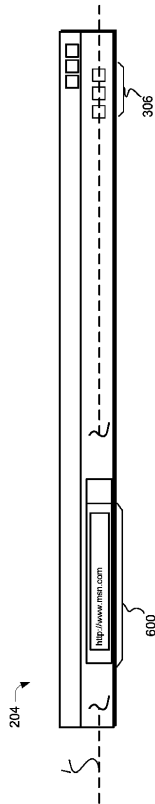


Fig. 6

【 図 7 】

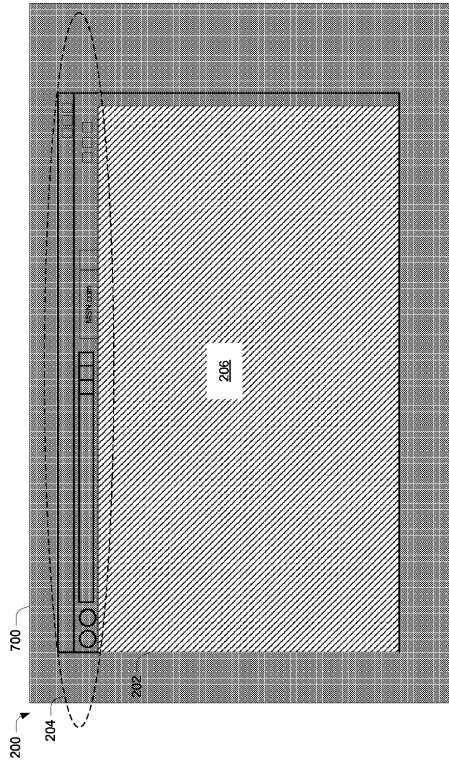


Fig. 7

【図 8】

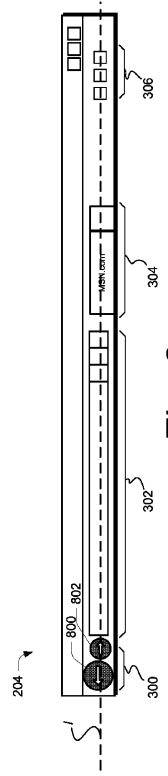
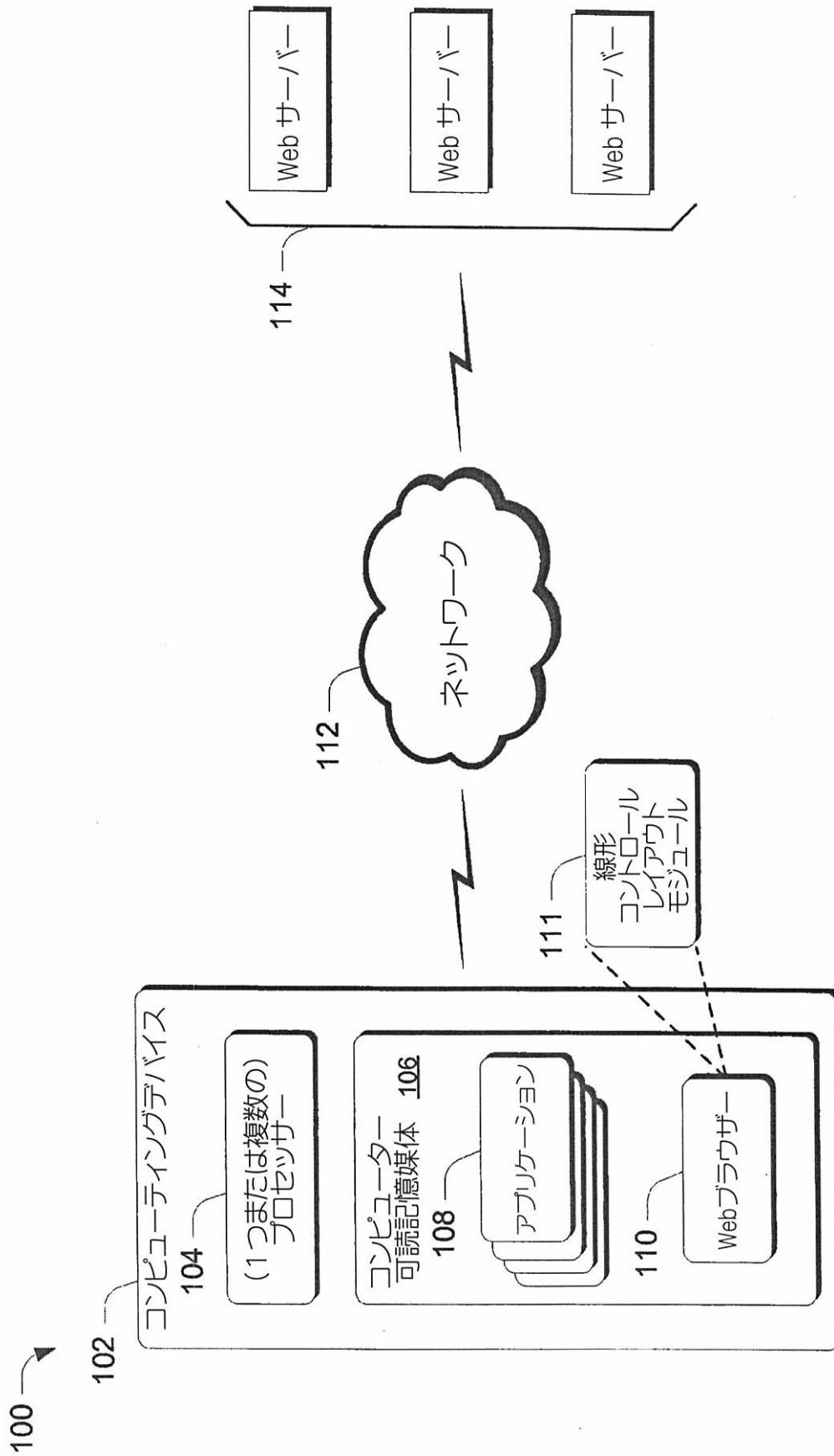
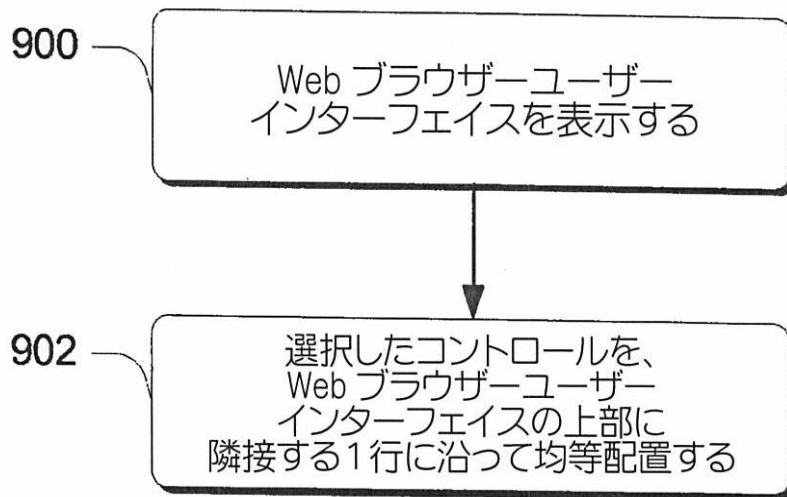


Fig. 8

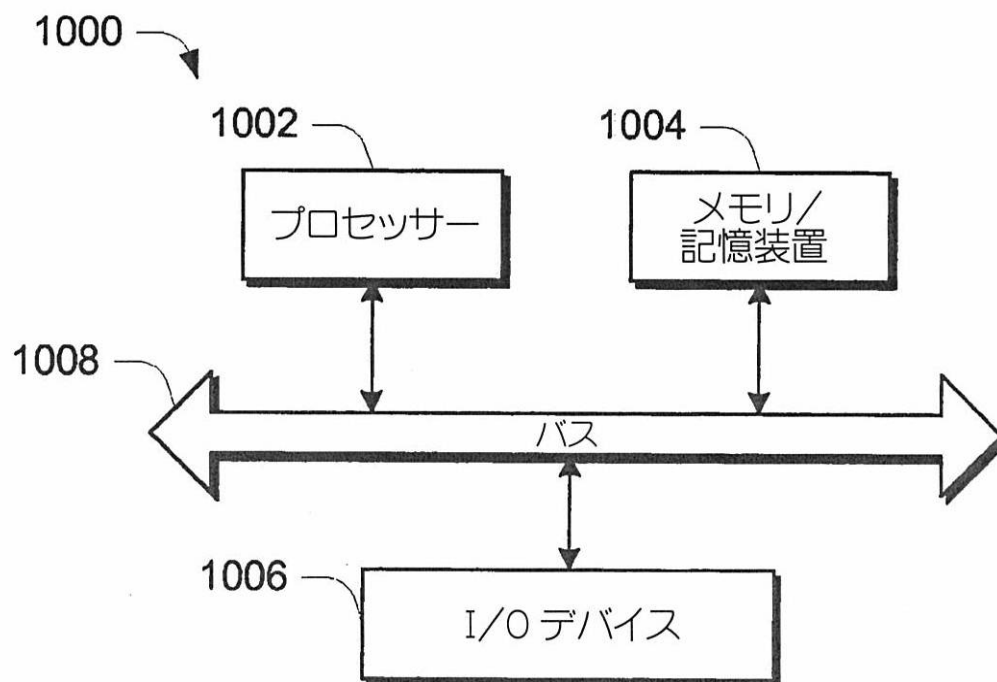
【図 1】



【図 9】



【図 10】



【国際調査報告】

INTERNATIONAL SEARCH REPORT		International application No. PCT/US2011/025621
A. CLASSIFICATION OF SUBJECT MATTER		
<i>G06F 3/048(2006.01)i</i>		
According to International Patent Classification (IPC) or to both national classification and IPC		
B. FIELDS SEARCHED		
Minimum documentation searched (classification system followed by classification symbols) G06F 3/048; G06F 17/30; G06F 9/00; G06Q 50/00; G06F 15/02		
Documentation searched other than minimum documentation to the extent that such documents are included in the fields searched Korean utility models and applications for utility models Japanese utility models and applications for utility models		
Electronic data base consulted during the international search (name of data base and, where practicable, search terms used) eKOMPASS(KIPO internal) & Keywords: "user interface, web browser, internet, navigation, contents, address, search, and similar terms"		
C. DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT		
Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
Y	US 2009-0150826 A1 (LYNDERSAY SEAN et al.) 11 June 2009 See summary of the invention; Figures 2,3,5,7,9; Paragraphs [0028]-[0029], [0034]-[0035]	1-15
Y	US 2006-0271858 A1 (STEPHEN VOLLECK et al.) 30 November 2006 See summary of the invention; Figures 5A-7; Paragraphs [0052]-[0060]	1-15
Y	KR 10-2007-0091753 A (EDM SOFT CO.) 12 September 2007 See summary of the invention; Figures 1-3; Claims 1-2	1-15
A	KR 10-0885945 B1 (SU-HYUN KIM) 26 February 2009 See summary of the invention; Figures 2-7; Claims 2-6	1-15
A	US 2009-0327947 A1 (SCHREINER TONY E. et al.) 31 December 2009 See summary of the invention; Figures 4-12; Paragraphs [0047]-[0073]	1-15
A	KR 10-2001-0114042 A (SUG-HEE KIM) 29 December 2001 See summary of the invention; Figures 6-7B; Claims 7-9	1-15
☐ Further documents are listed in the continuation of Box C. ☒ See patent family annex.		
* Special categories of cited documents: "A" document defining the general state of the art which is not considered to be of particular relevance "E" earlier application or patent but published on or after the international filing date "L" document which may throw doubts on priority claim(s) or which is cited to establish the publication date of citation or other special reason (as specified) "O" document referring to an oral disclosure, use, exhibition or other means "P" document published prior to the international filing date but later than the priority date claimed "T" later document published after the international filing date or priority date and not in conflict with the application but cited to understand the principle or theory underlying the invention "X" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered novel or cannot be considered to involve an inventive step when the document is taken alone "Y" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered to involve an inventive step when the document is combined with one or more other such documents, such combination being obvious to a person skilled in the art "&" document member of the same patent family		
Date of the actual completion of the international search 28 SEPTEMBER 2011 (28.09.2011)		Date of mailing of the international search report 29 SEPTEMBER 2011 (29.09.2011)
Name and mailing address of the ISA/KR  Korean Intellectual Property Office Government Complex-Daejeon, 189 Cheongsu-ro, Seo-gu, Daejeon 302-701, Republic of Korea Facsimile No. 82-42-472-7140		Authorized officer JEONG, Jae Woo Telephone No. 82-42-481-5718 

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

Information on patent family members

International application No.

PCT/US2011/025621

Patent document cited in search report	Publication date	Patent family member(s)	Publication date
US 2009-0150826 A1	11.06.2009	None	
US 2006-0271858 A1	30.11.2006	US 2006-0271861 A1 US 7523409 B2	30.11.2006 21.04.2009
KR 10-2007-0091753 A	12.09.2007	None	
KR 10-0885945 B1	26.02.2009	JP 2011-508306 A US 2011-0010357 A1 WO 2009-148216 A2 WO 2009-148216 A3	10.03.2011 13.01.2011 10.12.2009 10.12.2009
US 2009-0327947 A1	31.12.2009	None	
KR 10-2001-0114042 A	29.12.2001	None	

フロントページの続き

(81)指定国 AP(BW, GH, GM, KE, LR, LS, MW, MZ, NA, SD, SL, SZ, TZ, UG, ZM, ZW), EA(AM, AZ, BY, KG, KZ, MD, RU, TJ, TM), EP(AL, AT, BE, BG, CH, CY, CZ, DE, DK, EE, ES, FI, FR, GB, GR, HR, HU, IE, IS, IT, LT, LU, LV, MC, MK, MT, NL, NO, PL, PT, RO, RS, SE, SI, SK, SM, TR), OA(BF, BJ, CF, CG, CI, CM, GA, GN, GQ, GW, ML, MR, NE, SN, TD, TG), AE, AG, AL, AM, AO, AT, AU, AZ, BA, BB, BG, BH, BR, BW, BY, BZ, CA, CH, CL, CN, CO, CR, CU, CZ, DE, DK, DM, DO, DZ, EC, EE, EG, ES, FI, GB, GD, GE, GH, GM, GT, HN, HR, HU, ID, IL, IN, IS, JP, KE, KG, KM, KN, KP, KR, KZ, LA, LC, LK, LR, LS, LT, LU, LY, MA, MD, ME, MG, MK, MN, MW, MX, MY, MZ, NA, NG, NI, NO, NZ, OM, PE, PG, PH, PL, PT, RO, RS, RU, SC, SD, SE, SG, SK, SL, SM, ST, SV, SY, TH, TJ, TM, TN, TR, TT, TZ, UA, UG, US, UZ, VC, VN, ZA, ZM, ZW

(72)発明者 ウィリアムズ, メアリーーリン

アメリカ合衆国ワシントン州 98052-6399, レッドモンド, ワン・マイクロソフト・ウェイ, マイクロソフト コーポレーション, エルシーエイインターナショナル・パテント

(72)発明者 ホルブルック, ジェス・エス

アメリカ合衆国ワシントン州 98052-6399, レッドモンド, ワン・マイクロソフト・ウェイ, マイクロソフト コーポレーション, エルシーエイインターナショナル・パテント

(72)発明者 ホール, マーティン・ジェイ

アメリカ合衆国ワシントン州 98052-6399, レッドモンド, ワン・マイクロソフト・ウェイ, マイクロソフト コーポレーション, エルシーエイインターナショナル・パテント

(72)発明者 キム, ジェーン・ティ

アメリカ合衆国ワシントン州 98052-6399, レッドモンド, ワン・マイクロソフト・ウェイ, マイクロソフト コーポレーション, エルシーエイインターナショナル・パテント

(72)発明者 バウワーズ, サラ・ジェイ

アメリカ合衆国ワシントン州 98052-6399, レッドモンド, ワン・マイクロソフト・ウェイ, マイクロソフト コーポレーション, エルシーエイインターナショナル・パテント

(72)発明者 スティーブンス, ウォーレン・ジー

アメリカ合衆国ワシントン州 98052-6399, レッドモンド, ワン・マイクロソフト・ウェイ, マイクロソフト コーポレーション, エルシーエイインターナショナル・パテント

(72)発明者 マンディク, ミーコ

アメリカ合衆国ワシントン州 98052-6399, レッドモンド, ワン・マイクロソフト・ウェイ, マイクロソフト コーポレーション, エルシーエイインターナショナル・パテント

(72)発明者 モーガン, ブルース・エイ

アメリカ合衆国ワシントン州 98052-6399, レッドモンド, ワン・マイクロソフト・ウェイ, マイクロソフト コーポレーション, エルシーエイインターナショナル・パテント

(72)発明者 ゲーリング, ローラ・ジェイ

アメリカ合衆国ワシントン州 98052-6399, レッドモンド, ワン・マイクロソフト・ウェイ, マイクロソフト コーポレーション, エルシーエイインターナショナル・パテント

(72)発明者 マレク, アレクサンダー・エイチ

アメリカ合衆国ワシントン州 98052-6399, レッドモンド, ワン・マイクロソフト・ウェイ, マイクロソフト コーポレーション, エルシーエイインターナショナル・パテント

Fターム(参考) 5E555 AA26 BA02 BA14 BA45 BB02 BC17 BC19 CB37 CB42 CC03

DB17 EA07 EA11 FA01